



JSAS 2020

# 令和の時代の 美容外科に向けて

## 第108回 日本美容外科学会

総会・学術集会

### 2020年 6月2日(火)・3日(水)

### グランキューブ大阪

大阪府立国際会議場

【学 会 長】高田 章好 (大阪大学 形成外科学)  
【副学 会 長】森上 和樹 (城本クリニック 総院長)  
【副学 会 長】倉田 荘太郎 (別府ガーデンヒルクリニック 院長)

2020年  
1月1日(水)  
第027号  
一般社団法人 日本美容外科学会  
〒143-0023 東京都大田区山王  
3-37-13  
Tel.03-3776-3667



## 日本美容外科学会新聞

JAPAN SOCIETY OF AESTHETIC SURGERY  
JAPAN FOUNDATION OF AESTHETIC MEDICINE

日本美容外科学会  
公式新聞

今月号の  
主なお知らせ

第108回日本美容外科学会

## 新 年 の ご 挨拶

新年あけましておめでとうございます。  
皆様、つつがなく新年をお迎えのこと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、31年ぶりの新天皇即位(元号移行)、さらに本年2020年は56年ぶりのオリンピック開催と、日本は大きな節目を迎え、世界中から大注目をされています。  
それに伴い、日本のあらゆる業種・業態において改革・変革が余儀なくされており、美容医療も例外ではなく、大きな転換期に来ていると感じています。

「昭和」の時代に、日本は世界に遅れを取って診療科目として認可されました。前回1964年の東京オリンピックの時点では認可されておらず、認められたのは1978年10月の臨時国会の時であり、まだ「日本美容整形外科学会」でした。学会発足も1966年で第1回学会開催も翌年でした。その後、美容外科は、「平成」の時代に大進化を遂げ、美容皮膚科と共に「美容医療」として市民権を得るまでになりました。  
特にここ数年ではインバウンド需要やSNSの普及なども大きな追い風となり、日本は世界中から患者様や医師達が訪れる「美容大国」へと急成長していきました。

これにより「昭和」の時代のネガティブなイメージは払拭され、現代では著名人や芸能人をはじめ、一般の方がメディアやSNSなどで、自身の実体験を堂々と語ることも珍しくありません。  
日本における美容医療の認知や需要が高まり、その安全性や効果が広く知れ渡ったことで、美容医療が特定の方のための特別な医療ではなく、一般の方にとっても身近な医療に移り変わりつつあることは、私達にとって大変嬉しいことであり、これもひとえにこれまでの学会員の皆様方や、美容医療に携わる皆様方のたゆまぬ研究と努力の賜物です。

しかし、これからの「令和」の時代はどうあるべきか？  
今後さらに日本の美容医療を発展させていくために、様々な課題が存在しているのも事実です。  
皆さん既に周知かと思いますが、ここ数年で非吸収性注入剤に関する警告や、BIA-ALCL に関してテクスチャードタイプのシリコンバッグ等の販売停止などの事例、さらに学会としての品位やモラルを問われる事例もありました。

日本の美容医療が世界中から注目されているからこそ、国内でも市民権を得たからこそ、私たち医師一人ひとりが、今後の日本の美容医療を担う意識や自覚を持ち、研究や診療を重ねる必要があると感じています。

専門知識や技術についての勤勉努力は問わずもがな、患者様をより幸せにする「幸福医療人」として、コンプライアンスの一步先を行く、サービスオリティを追求して行くことが、日本の美容医療の「令和」のテーマになると確信しています。

これまで通りの「安心・安全・高品質」に加え、多様化する患者様のニーズにお応えできる幅広い知見を磨き、オリンピックイヤーも、その先も、すべての方に満足いただける幸福医療を提供していきましょう。

本年6月2日、3日に、高田章好学会長のもと開催される第108回日本美容外科学会(大阪国際会議場)の大会テーマも「令和の時代の美容外科に向けて」です。さらなる美容医療の発展のために貢献できる学会を開催していきたい所存であります。皆様方のご発表、ご参加をお願いして、新年の挨拶とさせていただきます。



日本美容外科学会  
理事長 保志名勝

## 第108回日本美容外科学会のご案内

第108回日本美容外科学会を主催いたします 大阪大学の高田章好です。  
今までの学会長のように組織を持っていない私に、このような大役は大変身に余る光栄なのですが、是非大阪でという声に後押しされ、学会のお役に立てるのであれば、という思いでお引き受けさせていただきました。  
今学会は『令和の時代の美容外科に向けて』を大会のテーマとして掲げております。  
昭和の時代に始まった「美容整形」はその後、チェーンクリニックの台頭などもあり、「美容外科」として認知され、昭和の終わりには大学での教育活動も少しずつ始まりました。  
さらに、平成の時代には美容皮膚科や美容内科を含めた美しさへの統合医療である「美容医療」としてますます発展したのですが、その進歩・発展において当会や会員の皆様が大きく貢献してきたことは、症例を圧倒的にJSASの診療機関が担っていることから間違いのないと思われまます。  
そこで、今回は新しく令和の時代を迎え、「美容医療」は今後どのようにしていくのか、また我々はどうしていくべきなのかを考える学会にしたいと思っております。  
会員の皆様におかれましてはご参加・ご協力のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



第108回日本美容外科学会  
学会長 高田章好  
大阪大学 形成外科学



■京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ

会 場  
**大阪国際会議場**  
グランキューブ大阪  
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

日本美容外科学会 WEBサイト  
<http://www.convention.co.jp/>

お問い合わせ・連絡先  
日本コンベンションサービス株式会社 担当: 藤原  
**TEL: 078-303-1101**  
(営業時間 平日9:30~17:30)  
mail: 108jsas@convention.co.jp